

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立する未来の創造 こころ			
○保護者評価実施期間	2026/2/25 ～ 2026/3/15			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2026/2/25 ～ 2026/3/15			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/31			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの心身の健康や発達状況について共通理解ができていること	お迎えの際に今日の様子をお伝えし、またおうちでの様子をお話しいただいております。	お話ししきれなかったことなどを電話やラインでタイムリーに伝えるように全職員がお互いに声掛けをしています。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていること	ブログを2か所で公表したり月1回のこころ通信を紙で配布してお知らせをしています。	玄関の掲示をさらに充実させ、見逃すことがないように声掛けもさせていただき、さらなる周知に努めてまいります。
3	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明があること	紙面を一緒に見て音読し、各項目で質問がないか確認しております。わかりにくい言葉はわかりやすく説明をするように心がけております。	わかりやすさを重視して、各家庭に合わせた印刷の文字の大きさなど配慮をしていけるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているとされていないこと	保護者の方にわかる専門的な支援ができていなかった。	作業療法士を新たに迎え、皆様に満足していただける専門性のある支援を提供できるよう研鑽を重ねてまいります。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないと思われること	公園やこども館、科学館、プールでの活動が少なかったため。	今後必要に応じて交流の機会の検討をしてまいります。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援や、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていないと思われること。	夏祭りやクリスマス会などのイベントにご家族で参加していただき、交流の場を設け、支援をさせていただいておりますが、保護者同士、兄弟同士の交流が少なかった。	イベント時に保護者同士、きょうだい同士の交流ができる時間を多くし、家族、きょうだいへの支援を強化するよう努めてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	打合せを密に行い、適切なスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	予約に応じて配置人数を調整している。	基準では問題ないが、子どもの状態や送迎などで足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	視覚補助などを用いてわかりやすい構造化に努めている。	今後も子どもたちが分かりやすい環境を目指し、適切な配慮を続けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の清掃を続けている。都度補修、改善を行っている。	冬場の床が冷たく感じるため対応を考えたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	プログラムやお子さまの状況に合わせて部屋を個別化したりして活動を行っている。	状況によって完全に個別化はできない時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	朝礼や会議にて全職員が参画できるようにしている。欠席者は必ず書類等にて確認をして印を押す。	評価と改善ができていないように思うという意見が出ており、今後は評価、改善を中心に行う予定。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	保護者評価を実施した。	評価結果を受けて改善をしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	朝礼や会議にて全職員が参画できるようにしている。欠席者は必ず書類等にて確認をして印を押す。	この方針を継続する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	第三者評価は行っていない。	必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	月 1 回以上研修を受け、定例研修を月 1 回行っている。	引き続き積極的に参加し、常に学ぶ姿勢を持つようにする。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成しHP等にて公表している。	より良い支援ができるよう見直しをする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析している。	常に見直しをするような体制を保つ。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員全員で作成に取り組んでいる。日々の話し合いが充実しており、自分の考えを話す機会がしっかりともうけられている。	継続し、子どもの最善の利益を常に考慮していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画に沿った支援ができるように話し合いをし、共有している。	それに沿った支援が行われているかという、できているかわからないという意見があり、今後は振り返りを重点的に行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	社内独自のアセスメントツールを用いている。保護者からの聞き取りも日々行っている。	数値化できるように研修を行う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	ガイドラインに基づき支援の設定を行い、可能な限り具体的に支援内容を設定している。	研修を重ね、全職員が理解し、支援につながるようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全職員で計画している。	継続して行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	振り返りを常に行い、飽きないように全職員で話し合い、手作り教材を利用するなど工夫している。	継続して行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	基本は集団活動だが、状況に応じて個別活動を取り入れている。	継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。	継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。緊急性のある件は都度振り返りを行っている。	継続して行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	支援内容や達成度、様子をわかりやすく記録する努力をしている	継続して行う。研修でより良い支援記録の書き方などを学ぶ。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	支援計画の更新時、その他必要に応じて適切なモニタリングを行っている。	今後も全職員で支援の振り返りを行う体制を継続していく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		自立する未来の創造 こころ		公表日 2026/3/31		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	継続して行う。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	相談事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っている。	継続して行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	相談事業所や保護者を通じて共有している。	継続して行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	保護者の要望に応じて行っている。	継続して行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1	機会がない。	必要に応じて行う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	2	長期休みはおでかけ、外出支援を取り入れている。	必要に応じて行う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎の際に共有している。	密にコミュニケーションをとるように努力する。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	面談やイベントにて対応しております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングを今後必要に応じて検討する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時、更新時、必要に応じて説明をしている。	継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	作成時に聞き取りを行い、確認をしている。	継続していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	面談等を行い、計画内容の説明・同意を行っている。	継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	相談しやすい声掛けを送迎時に行い、面談には迅速に対応している。	継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0	イベントを開催して、保護者、きょうだいの参加を促している。	継続していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談窓口を設置し、契約時に説明かつ掲示をして周知している。	全職員でマニュアルを共有し、必要に応じて、迅速かつ適切に対応する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	こころ通信を発行し、ブログを2か所で掲載し発信している。	情報発信の充実と周知に努める。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	鍵付きの書庫で管理し、他の保護者との距離を取る等の配慮をしている。	十分に留意し、継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	共有の絵カード等で理解をしやすいようにしている。	個人的に持たせるものとして、絵カードなどはあってもよいと思う。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2	近隣のお店に買い物に行く、公共のバスを利用する等を行っている。	地域との交流を増やすイベントを増やす。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを玄関に設置して自由に閲覧できる。月１回避難訓練を様々な状況で実施している。	継続していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	定期的に訓練、研修を行っている。	継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	フェイスシート等で確認をしている。	全職員が周知できるよう定期的に見直す。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	該当者なし。	全職員が周知できるよう定期的に見直す。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を策定し、計画に沿って研修と訓練を行っている。	継続していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	掲示を行い、声掛けをしている。	全職員にも周知し、子ども、保護者への声掛けを行うようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	朝礼、書類の回覧にて共有を迅速に行い、再発防止策も共有している。	継続していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修を定期的に行っている。	関係機関との連携をさらに深める。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	研修を行っている。対象児童はいなかった。記載を全員にし、保護者への確認を行っている。	継続していく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	打合せを密に行い、適切なスペースを確保している。	継続して行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	予約に応じて配置人数を調整している。	基準では問題ないが、子どもの状態や送迎などで足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	視覚補助などを用いてわかりやすい構造化に努めている。	今後も子どもたちが分かりやすい環境を目指し、適切な配慮を続けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃を続けている。都度補修、改善を行っている。	冬場の床が冷たく感じるため対応を考えたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	プログラムやお子さまの状況に合わせて部屋を個別化したりして活動を行っている。	状況によって完全に個別化はできない時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	朝礼や会議にて全職員が参画できるようにしている。欠席者は必ず書類等にて確認をして印を押す。	評価と改善ができていないように思うという意見が出ており、今後は評価、改善を中心に行う予定。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者評価を実施した。	評価結果を受けて改善をしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼や会議にて全職員が参画できるようにしている。欠席者は必ず書類等にて確認をして印を押す。	この方針を継続する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	第三者評価は行っていない。	必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月1回以上研修を受け、定例研修を月1回行っている。	引き続き積極的に参加し、常に学ぶ姿勢を持つようにする。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成しHP等にて公表している。	より良い支援ができるよう見直しをする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析している。	常に見直しをするような体制を保つ。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員全員で作成に取り組んでいる。日々の話し合いが充実しており、自分の考えを話す機会がしっかりともらわれている。	継続し、子どもの最善の利益を常に考慮していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	支援計画に沿った支援ができるように話し合いをし、共有している。	それに沿った支援が行われているかという、できているかわからないという意見があり、今後は振り返りを重点的にやっていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	社内独自のアセスメントツールを用いている。保護者からの聞き取りも日々行っている。	数値化できるように研修を行う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに基づき支援の設定を行い、可能な限り具体的に支援内容を設定している。	研修を重ね、全職員が理解し、支援につながるようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	全職員で計画している。	継続して行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	振り返りを常に行い、飽きないように全職員で話し合い、手作り教材を利用するなど工夫している。	継続して行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	基本は集団活動だが、状況に応じて個別活動を取り入れている。	継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。	継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。緊急性のある件は都度振り返りを行っている。	継続して行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援内容や達成度、様子をわかりやすく記録する努力をしている	継続して行う。研修でより良い支援記録の書き方などを学ぶ。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	支援計画の更新時、その他必要に応じて適切なモニタリングを行っている。	今後も全職員で支援の振り返りを行う体制を継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1	意識して組み合わせるようにしている。複数の職員で検討している。	継続して行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	子どもたちが企画実施できる工夫を始めている。毎日ではないが、活動のルールなどを子どもたちに決めてもらうことがあった。自由時間はできる限り希望に沿ったもので遊べるようにしている。	継続して行う。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	継続して行う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	相談事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っている。	継続して行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者を通じて、また送迎の際に学校と共有している。	継続して行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	保護者の要望に応じて行っている。	継続して行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	1	機会がない。	必要に応じて行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	2	機会がない。	必要に応じて行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	長期休みはおでかけ、外出支援を取り入れている。	必要に応じて行う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	継続して行う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎の際に共有している。	密にコミュニケーションをとるように努力する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	面談やイベントにて対応しております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングを今後必要に応じて検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、更新時、必要に応じて説明をしている。	継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	作成時に聞き取りを行い、確認をしている。	継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談等を行い、計画内容の説明・同意を行っている。	継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談しやすい声掛けを送迎時に行い、面談には迅速に対応している。	継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	イベントを開催して、保護者、きょうだいの参加を促している。	継続していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談窓口を設置し、契約時に説明かつ掲示をして周知している。	全職員でマニュアルを共有し、必要に応じて、迅速かつ適切に対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	こころ通信を発行し、ブログを2か所で掲載し発信している。	情報発信の充実と周知に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	鍵付きの書庫で管理し、他の保護者との距離を取る等の配慮をしている。	十分に留意し、継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	共有の絵カード等で理解をしやすいようにしている。	個人的に持たせるものとして、絵カードなどはあってもよいと思う。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	近隣のお店に買い物に行く、公共のバスを利用する等を行っている。	地域との交流を増やすイベントを増やす。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	自立する未来の創造 こころ
------	---------------

公表日 2026/3/31

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルを玄関に設置して自由に閲覧できる。月1回避難訓練を様々な状況で実施している。	継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に訓練、研修を行っている。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	フェイスシート等で確認をしている。	全職員が周知できるよう定期的に見直す。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	該当者なし。	全職員が周知できるよう定期的に見直す。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し、計画に沿って研修と訓練を行っている。	継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	掲示を行い、声掛けをしている。	全職員にも周知し、子ども、保護者への声掛けを行うようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	朝礼、書類の回覧にて共有を迅速に行い、再発防止策も共有している。	継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を定期的に行っている。	関係機関との連携をさらに深める。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	研修を行っている。対象児童はいなかった。記載を全員にし、保護者への確認を行っている。	継続していく。